

戦略 1

キラコンテンツの よる交流人口の拡大

不二雄先生のふるさとづくり
体験観光・歴史文化遺産の
よる産業の活性化
ICE招聘機能の充実



高岡おとぎの森公園「ドラえもんの空き地」
©Fujiko-Pro

戦略 2

産業革命の よる イノベーションの促進

企業
次世代産業
高岡の



高岡オフィスパーク

戦略 3

地方改革の推進による ワークライフバランス 先進都市の実現

地方改革の推進
健康経営の普及・健康経営宣言
推進
3. 移住・Uターン強化



山町ヴァレー(山町筋)

課題解決 の基盤

高岡を誇りに思い、
行動する市民意識の形成



市民、学生、企業それぞれが、
まちづくり活動に参加し、
高岡を知り理解する

戦略 4

クリエイティブ産業と 中心市街地の相乗的発展の推進

1. 関係機関の連携による
クリエイティブ産業の活性化
2. 山町筋・金屋町における
創造エリアの形成
3. 市街地再整備及びリノベーションまちづくりの推進

戦略 5

創業・事業承継の推進及び 会議所の体制強化

1. 創業・事業承継支援の強化
2. 伴走型支援による小規模事業者
の経営強化
3. 会員サービスの充実と
会議所組織の体制強化



たかおか創業講座

地域振興プランのコンセプト

現況分析から整理される課題

■ 強みを活かし機会を攻略するための課題

豊富な観光資源(歴史資源、産業観光、藤子・F・不二雄先生のふるさと)を活かし、北陸新幹線の延伸効果を高めることにより交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化、ホスピタリティ産業(宿泊、旅行、飲食、運輸)の成長を促す。

■ 強みを活かし脅威に対抗するための課題

ものづくりが息づき伝統産業が継承され、クリエイティブな気風が高い特性を活かし、国家戦略である第4次産業革命(IoT・ビッグデータ・人工知能)の中小企業・小規模事業者への浸透を図ることにより、産業のグローバル化に伴う競争の激化、生産拠点の海外流出に対抗する。

■ 弱みを克服し機会を攻略するための課題

少子高齢化の進展、若者の流出に対し、大学・高校の立地や良好な居住環境を活かし、女性にも働きやすい環境の形成、クリエイティブな職業の拡大により雇用の拡大を図る。

目指すべき方向性

高岡の産業界における未来像の実現を目指し、戦略的な実行と広域連携により具体的成果を創出する。

■ 交流人口の拡大による地域経済の活性化

北陸新幹線を使って多くの観光客が高岡を訪れるとともに、ビジネスで訪れた方も観光を楽しむことにより交流人口が増え、飲食、買物、宿泊等により地域経済に波及効果が生まれ、シビックプライド(高岡を誇りに思う市民意識)が醸成される。

【目標値】 高岡市の観光入込客数

380万人(2015年) → 450万人(2020年) → 550万人(2027年)

※高岡市総合計画・第3次基本計画、「未来高岡」総合戦略の目標値を基に設定

■ 中小企業・小規模事業者の競争力強化

第4次産業革命の推進により、中小企業・小規模事業者における生産性や付加価値が向上し、競争力が高まる。

【目標値】 市内事業所数の維持

9,297事業所(2017年) → 9,000事業所(2020年) → 8,500事業所(2027年)

※市内の事業所減少(2001年~2012年平均)年率1.6%を概ね半減する水準で維持

■ 働きやすい都市の実現

働き方改革・健康経営の取組みが先進的に行われ、幸福感の高い働く環境が実現し、UIIターンが増加する。また、観光振興によるホスピタリティ産業の活性化、デザイン・商品企画を核とするクリエイティブ産業の拡大等により魅力的な就業先が創出される。

【目標値】 市内事業所の健康経営宣言数

100件(2020年) → 会員事業所(従業員10人以上)50%宣言(2027年)

観光 創出に

1. 藤子・F
2. 産業体
活用い
3. MI

戦略 2

第4次産業 実現を柱と 地域イノベーション

1. IoT、AI等ITを活用した
イノベーションの創発
2. 呉西圏域連携による
の創出
3. 工芸都市高
産地継承



集合健康診断

働き ワ

1. 働き方
2. 健康
の推
- 3.